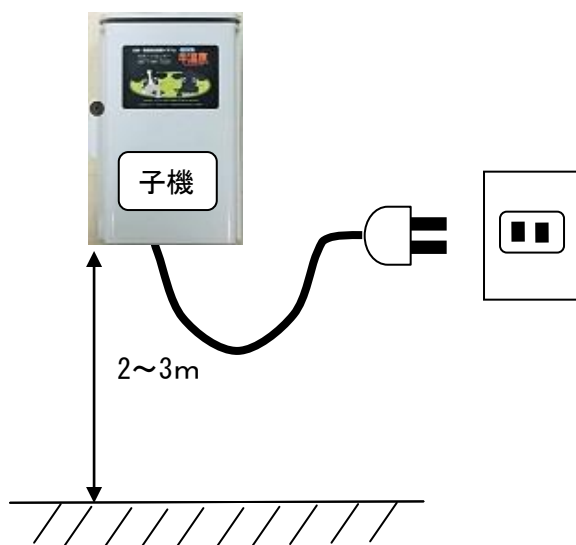
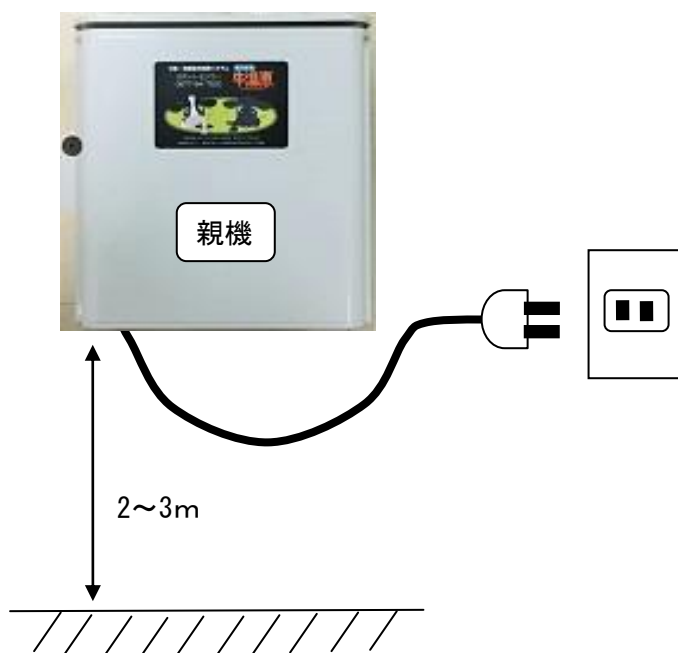
取　扱　説　明　書

モバイル牛温恵機器設置手順

1. 子機を分娩房面積 15m×15m（目安）の中央に床面より 2m～3mの高さで固定して下さい。
   ＊風が吹いた時、周囲の柱や梁にぶつかり衝撃を与えると、内部の電子機器が破損します。
2. 子機に 100V 電源を接続してください。（近くにコンセントがない場合は延長コードを準備してください。）

3. 受信距離は、畜舎構造によって左右されます。体温データが収集できない場合は、体温センサー挿入牛を子機に近づけるか、子機を挿入牛へ近づけてください。
   体温センサー挿入牛へ接近させてください。
4. 親機をドコモＦＯＭＡ電波環境の良好な畜舎内に床面より 2m～3mの高さで固定して下さい。
   （見通しが良ければ子機から 20mほど離れても通信できれば構いません。）
   ＊風が吹いた時、周囲の柱や梁にぶつかり衝撃を与えると、内部の電子機器が破損します。
5. 親機に 100V 電源を接続してください。（近くにコンセントがない場合は延長コードを準備してください。）

携帯電話・スマートフォンでメール設定

□携帯電話からホームページへ

○携帯電話にカメラ機能が付いている場合は、カメラモードを[バーコードリーダー]に切り替えて、
下記の QR コードを読み取りｉモード、ezweb 等で接続します。

○スマートフォンの場合は QR コード読み取りアプリを
ダウンロードしてください。(通報限定版のユーザ様)

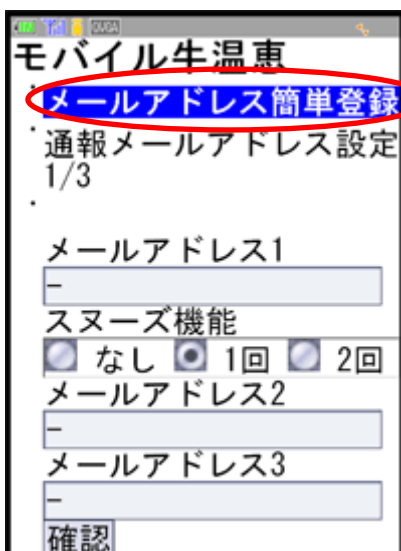
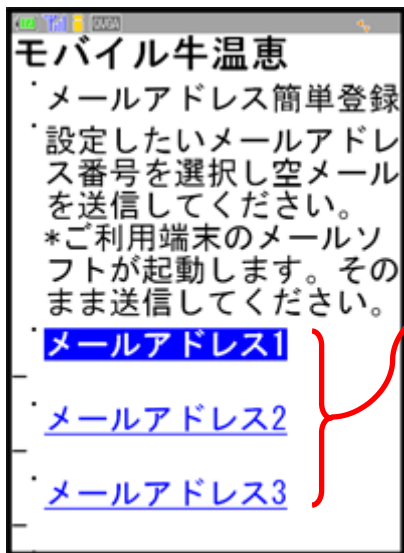
○カメラ機能の付いてない携帯電話の場合はｉモードの URL 入力に下記を入力してください。

[http://www.remote.co.jp/remote/i/]

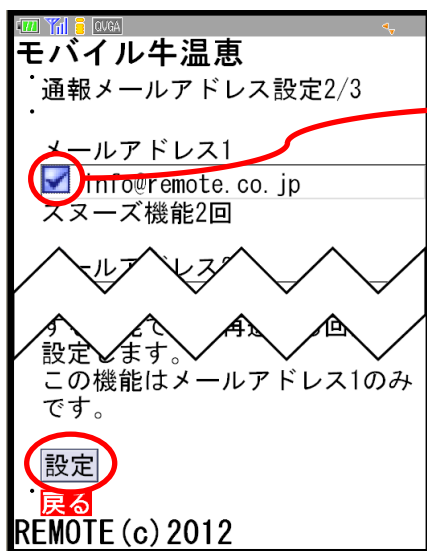
接続はｉモード、ezweb 等を選択します。

■携帯電話でメールアドレスを設定する

1．モバイル牛温恵へ会員ログインします。

2．[**メール設定**]を選択して通報メールの設定をします。

3．[**メールアドレス簡単登録**]を選択します。

4. 登録したいメールアドレス番号を選択し空メールを送信します。
その後、確認メールが届きましたら完了です。

5. メールアドレスを直接入力する場合は（ー）を削除します。

入力後は[**確認**]を押します。

メールアドレスを正しく入力されているかを確認します。
新規で入力したアドレスに☑を入れて[**設定**]を選択します。
正しく入力されている場合はすぐに確認メールが受信されます。
確認メールが受信されない場合は以下の原因が考えられます。
①メールアドレスの入力間違い
②携帯メール設定でパソコンからのメール受信を拒否する
以上対策を講じて再度挑戦してください。

スヌーズ回数を選択して[**確認**]を選択してください。

スヌーズ機能とは駆付け通報メールによって目覚めてもうたた寝した場合にもう一度目覚めさせるためのメールを再送する機能です。
メールアドレス１のみ再送する回数を設定できます。

６.次回よりログイン入力の手間を省くために[Bookmark]等へ登録をします。

ドコモの場合

[**モバイル牛温恵**]と表示された画面から[**サブメニュー**]を選択して[**Bookmark**]→[**Bookmark 登録**]の順で登録を行ってください。
登録したグラフを見る時は[**i モード**]→[**Bookmark**]→[**Bookmark**]→[**REMOTE**]の順で操作してください。

au の場合

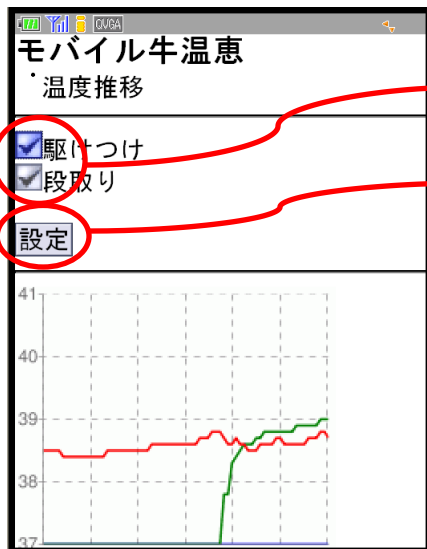
[**モバイル牛温恵**]と表示された画面から[**ブラウザメニュー**]を選択して登録を行ってください。
登録したグラフを見る時は[**EZweb**]→[**お気に入りリスト**]→[**REMOTE**]の順で操作してください。

スマートフォンの場合

[**モバイル牛温恵**]と表示された画面の[**メニュー**]から[**ブックマーク追加**]を選択して,追加先を[**ホーム画面**]にしてください。

※機種により操作方法が異なります。わからない場合は最寄りの携帯電話ショップへお尋ねください。

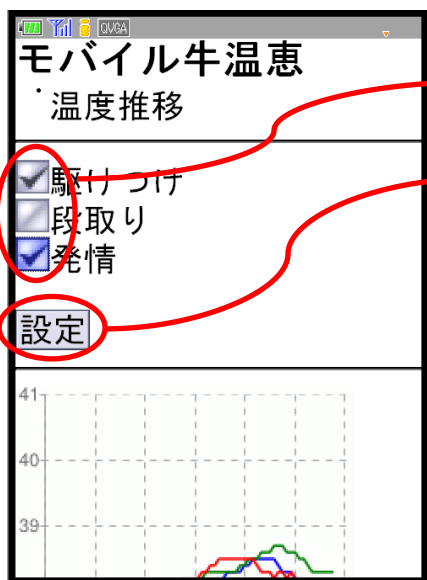
□通報設定

０.設定したいセンサー番号を選択します。

分娩監視をする場合

①. 駆けつけと段取りに☑を入れます。

＊37℃以上で設定します。

②. [**設定**] を選択します。

●外気温はこのページで上下限温度の設定を行ってください。

発情発見をする場合

①. 駆けつけと発情に☑を入れます。

＊37℃以上で設定します。

②. 「**設定**」を選択します。

メール通報が送信されると☑は自動で消えます。
途中脱出等誤通報の時は体温センサーを牛に入れ直し、☑を入れ設定を行ってください。

段取り通報後に体温の異常上昇が起こった時に SOS 通報を出したい場合は設定を有効にしてください。

※出産後、すぐにセンサーを他牛に使用する場合は、前牛のデータが残っている為、前牛のセンサー脱出後 24 時間以上経って、通報設定を行ってください。

※膣内挿入時は体液が電波を減衰させるので、受信機から離れた時、受信機方向に頭が向いている時は受信できない場合があります。体温グラフ欠けが発生しますが約 6 割以上データ収集できれば正常に通報されます。

※携帯電話のパケット割引サービスに加入していない場合は最寄りの携帯電話ショップでのお申し込みをお勧めします。

※テストメールは送信後、すぐに携帯電話へ送信されます。[牛温恵からのテスト送信メール]が届かない場合は、正しく入力されていないか、携帯電話メール設定が、パソコンメール拒否（迷惑メール対策）されている場合がありますので、正しいメールアドレスを再入力、またはメール設定変更を行ってテスト送信してください。

ドメイン指定をする場合は　remote.co.jp　を指定してください。

スマートフォン・パソコンで通報メール設定手順

1. 当ホームページからログインします。(http://www.remote.co.jp)
   事前に登録した ID,パスワードを入力します。
2. 左メニューの[**情報登録**]をクリックします。

3. [**通報登録**]を行います。

■通報登録
各値を変更して環境にあわせたグラフ･通報環境にカスタマイズしてください。

①	通報メールアドレス1	info@remote.co.jp [テスト送信]
②		スヌーズ機能 ◉0 ○1 ○2
	通報メールアドレス2	- [テスト送信]
	通報メールアドレス3	- [テスト送信]
	設備予定メール	7 日前設備点検日予告をメールします。
③	SOSメール	◉無効 ○有効
④	予防接種日メール	◉無効 ○有効 予定日の[ ]日前と[ ]日前にメールします。
⑤	出産予告日メール	◉無効 ○有効 予定日の[ ]日前にメールをします。
⑥	子牛投薬日メール	◉無効 ○有効 分娩[ ]日後にメールをします。
	家畜管理台帳ソート	NO昇順

[設　定]

ドロップダウンリストボックスからグラフの各値を選択して[設定]をクリックしてください。
メール通報： 予めご登録いただいた3箇所へ警告メールを送信します

①通報先メールアドレスを登録します。

・通報先 3 件までを入力し、[**設定**]をクリックします。

・正しく入力されているかを確認する為、[**テスト送信**]をしてください。

※テストメールは送信後、すぐに携帯電話へ送信されます。[牛温恵からのテスト送信メール]が届かない場合は、正しく入力されていないか、携帯電話メール設定が、パソコンメール拒否（迷惑メール対策）されている場合がありますので、正しいメールアドレスを再入力、またはメール設定変更を行ってテスト送信してください。

②スヌーズ機能

回数を指定すると通報メールアドレス 1 へ登録したアドレスへ 1 分毎に、1 回または 2 回メール送信されます。（駆つけ通報メールのみ適用）

③SOS メール

段取り通報後の体温異常をメール通報したい場合は[**有効**]にします。

④予防接種日メール

予防接種日を前もってメール通報したい場合は[**有効**]にし、通報日の指定を設定します。

⑤出産予告日メール

出産予定日を前もってメール通報したい場合は[**有効**]にし、通報日を指定します。

⑥子牛投薬日メール

子牛投薬日を前もってメール通報したい場合は[**有効**]にし、通報日を指定します。

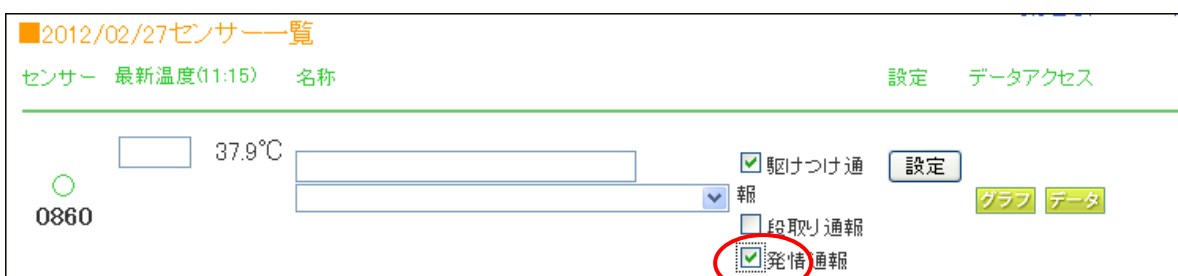
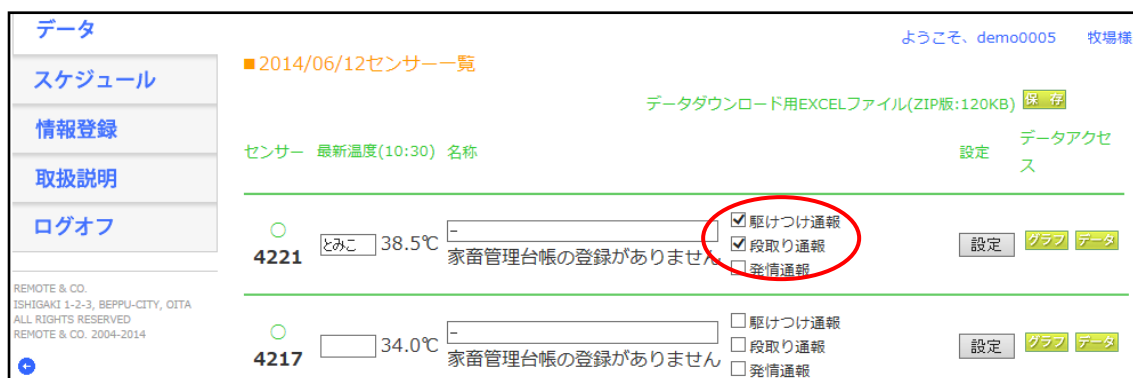
設定終了後は[設定]をクリックしてください。

スマートフォン・パソコンで通報設定

1. 牛情報を入力します。当ホームページからログインし、本日の日付をクリックします。

挿入したセンサーの欄に名称を入力します。上段は挿入日などメモを入力、下段はプルダウンメニューより牛番（家畜管理台帳を登録している場合）を選択します。牛体温が３７℃以上になったら（センサー覧の最新温度で確認できます）、駆けつけと段取りにクリックで☑を入れ、[**設定**]をクリックします。

2. プルダウンメニューからセンサーを入れた牛を選択し、段取りと駆けつけに☑をいれます。

■2012/02/27センサー一覧
センサー　最新温度(11:15)　名称　設定　データアクセス
0860　37.9℃
☑駆けつけ通報
☐段取り通報
☑発情通報
設定　グラフ　データ

※発情発見を通知したい場合は、[駆けつけ通報]と[発情通報]に☑を入れます。

※通報は、[段取り通報]→[駆けつけ通報]の順に届きますが、[段取り通報]が届くと自動で[センサー一覧]の[段取り]の☑が消え、[駆けつけ]の☑だけになりますので再度チェックを入れる必要はありません。段取り通報後は赤い顔の牛が表示されます。

- センサー毎に上記設定を行ってください。
- 出産後はデータ一覧の牛番を空白にし、 **[設定]**をクリックします。

※出産後、すぐにセンサーを他牛に使用する場合は、前牛のデータが残っている為、前牛のセンサー脱出後 24 時間以上経って、通報設定を行ってください。

※膣内挿入時は体液が電波を減衰させるので、受信機から離れた時、受信機方向に頭が向いている時は受信できない場合があります。体温グラフ欠けが発生しますが約 6 割以上データ収集できれば正常に通報されます。

家畜管理台帳の新規登録

1. **[新規]**をクリックします。

2. 耳標番号から鑑定までをわかる範囲で入力します。
   入力後は、**[追加]**をクリックすると登録されます。

① 耳標番号はクリックすると詳細が表示されます。

② 項目をクリックすると、その項目を基準に並べ替え層別ができます。クリックするごとに昇順と降順を繰り返します。

③ 登録した牛を削除するとき、チェックを入れて**[設定]**をクリックします。

発情発見設定（スマートフォン・パソコンから設定）

1. **[スケジュール]**を選択します。

2. **[追加]**をクリックします。

3.　**[選択]**をクリックすると別画面で登録牛の選択画面が表示されますので、発情発見したい牛を選択します。

4.　発情予定日は、本日から 20 日後の日付ですが前後 5 日間で自由に変更できます。プルダウンメニューから日付を選択し、入力が終了したら**[保存]**をクリックしてください。

予定日等はカレンダーに表示されます。
入力した日はえんぴつマーク、発情予定日はハートマークが表示されます。
出産予定日は牛のマークが表示されます。

5.　メモ内容は、スケジュールに利用できます。
メモを入力し、☑を入れ、メールしたい日をプルダウンメニューから選択し、**[保存]**をクリックしてください。
カレンダーは、時計のマークで表示されます。

通報メール及びお知らせメールの内容

前項までの設定を行っておくと、設定条件から外れた場合以下のメール通報を行います。

〇体温センサー

通報メールの種類

[段取り通報] md1109cw@remote.co.jp
分娩前の体温低下が現れた時、メール通報します。

[駆けつけ通報 1] md1109@remote.co.jp
段取り通報後に破水及び娩出等によりセンサーが脱出した時、メール通報します。

[駆けつけ通報 2] md1109@remote.co.jp
段取り通報前に何らかの要因（破水、娩出、引っ掛け、膣ユル）等によりセンサーが脱出した時、メール通報します。

[発情兆候通報] （web 版のみ） hatsujyou@remote.co.jp
発情初期にメール通報します。

[SOS 通報] md1109@remote.co.jp
SOS 通報を有効に設定した場合、段取り通報後に 39.3℃（黒毛和牛）、39.5℃（乳牛）以上の体温上昇でメール通報します。

[上限温度通報] md1109@remote.co.jp
分娩監視や発情監視中に、40.5℃以上（黒毛和牛・乳牛共通）の発熱があった場合にメール通報します。

お知らせメールの種類（定期（朝 7 時～7 時 30 分）にメールでお知らせします）

[出産予定日メール]（web 版のみ）tuho01@remote.co.jp
出産予定日 7 日前になると出産予定日が近づいたことをお知らせメールします

[発情確認メール] （web 版のみ）tuho01@remote.co.jp
カレンダーで発情予定した日にお知らせメールします。

[予防接種日メール] （web 版のみ）tuho01@remote.co.jp
母牛の出産前や出産後の子牛の予防接種日をお知らせメールします。

〇外気温センサー

[上下限温度通報]
上下限設定温度域から外れた時、メール通報します。
※　温度グラフ上部の通報詳細に[５分から１２時間]の範囲で設定していなければメール通報しません。

※　すべての通報は設定しないと通報しません。ご確認の上、設定してください。
※　本システムは５分毎に計測した温度を、監視センターで処理するので、通報が届くまでに 9 分～14 分かかります。従って目の前で脱出してもすぐに通報はありません。
システム構成上、短縮はできませんのでご了承ください。
※　停電、機器の故障、インターネット回線異常等で通信が切断される場合があります。
通信が切断した時はメール通報も受信できませんので携帯電話等で体温データの確認

を１日４回以上行ってください。 通信が切断されている場合は、電源が正常であることを確認したのち、親機と子機を再起動させ、10分経っても温度データが表示されない場合はお問い合わせください。
お問合せ先（TEL：0977-84-7520　携帯：090-1199-9400）

出産予定母牛へセンサー挿入手順

準備するもの

牛にセンサーを挿入します。

※センサー番号と牛番を確認しメモに残してください。

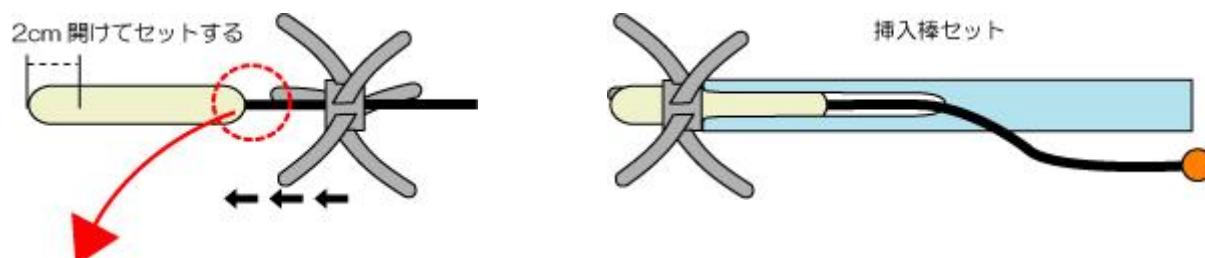
装着手順

① 牛をスタンチョンなどで固定する。

② 外陰部を洗浄消毒する。

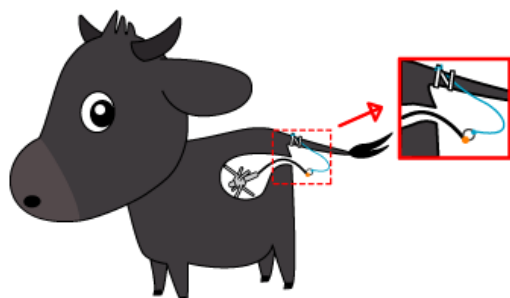
③ 体温用センサー、ストッパー、長手袋、挿入棒を消毒する。

④ ストッパーを体温用センサーへセットする。

⑤ 産道潤滑剤をストッパーと外陰部内側へ塗布する。

注意：チューブ内はアンテナとなっていますので、押し付けたりしないでください。

⑥ 体温用センサーを挿入棒等で膣内奥のポケットへ挿入する。
（分娩予定日の約 7 日前に挿入します。）

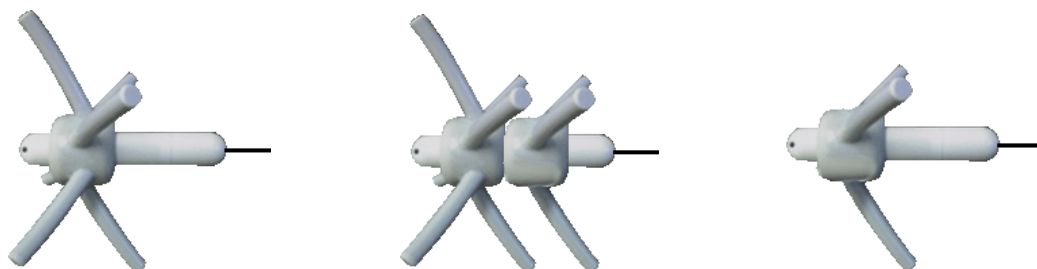
⑦ 落下防止の為、保護チューブを尻尾に固定する場合は、アンテナ黒チューブの先についているリングに糸をつけて尻尾の根元にテープで固定してください。

○糸をリングに留める場合

※糸は手縫い糸太目やタコ糸で、長さは 30㎝ ほどをお勧めします。

※テープは伸縮しないテーピングテープを推奨します。

ストッパーセット方法

❶　一次破水での脱出確率が安定し、途中脱出も軽減できます。
❷　途中脱出する牛へ再挿入する場合に使用します。
※個体差により体温用センサーを膣内留置できず脱出する場合がありますので
　膣脱牛に使用する場合は膣脱ベルトとの併用をお勧めします。
❸発情発見に使用する時は 3 本手ストッパーを使用してください。

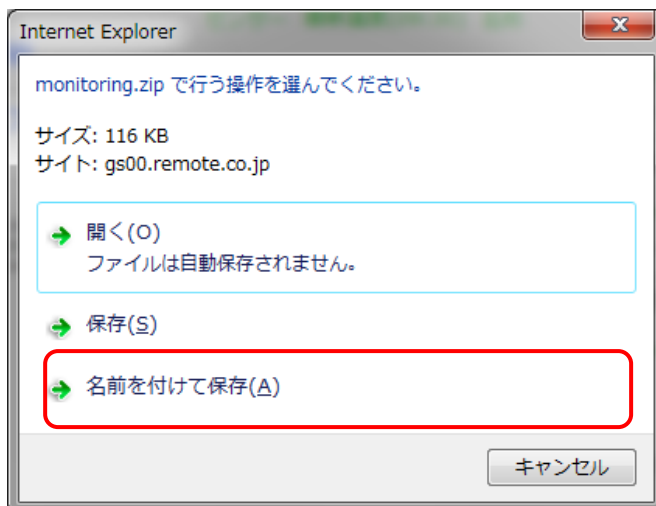
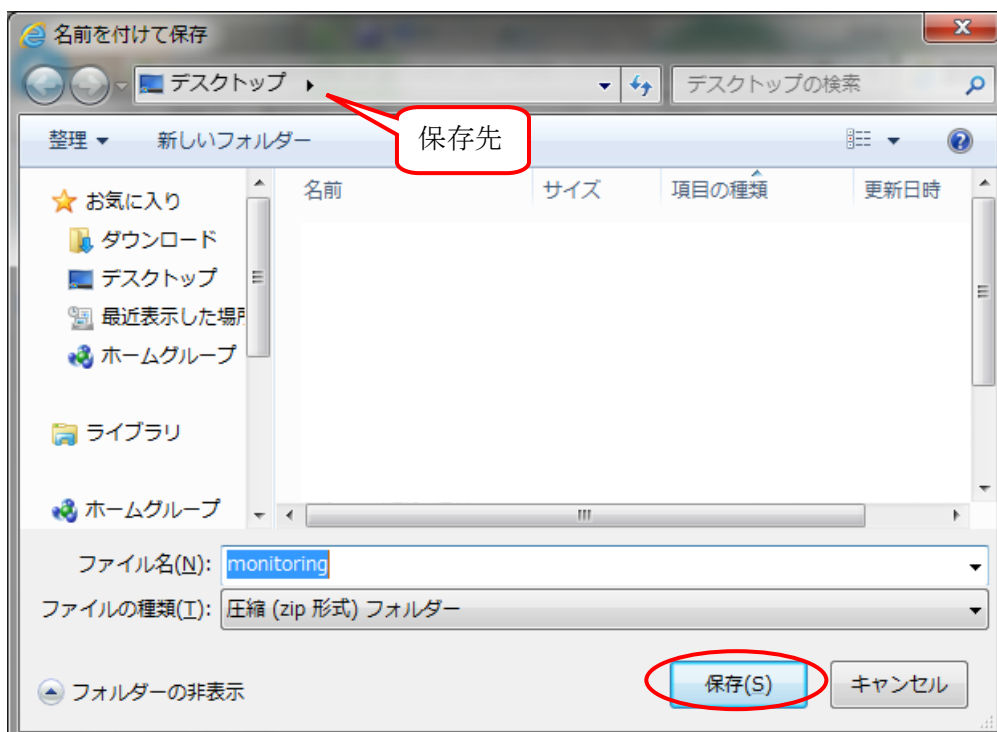
❶　❷　❸

注意事項

- 牛以外への使用はしないでください。
- 無理な使用は膣内を傷つけますので控えてください。
- 牛への装着は事故防止の為、必ず二人以上で行ってください。
- 分解または改造しないでください。
- 脱落防止チューブ内はアンテナとなっていますので、鋭角に曲げるなど、必要以上に引っ張ることは破損の原因となります。（最大 10Kg）
- 膣内挿入日数は、最長 15 日、それ以上の連続挿入はしないでください。
- 挿入中は、生体の変化に留意し、異常と思われる場合は挿入を中止し、獣医師の指示に従ってください。
- 本製品は、微弱無線帯域でデータ送信しますので使用される環境によっては測温データの欠落が生じる場合があります。
- 使用後は、本体からストッパーを取り外し熱水洗浄（60℃10 分 MAX）及び薬液消毒（中水準）してください。
- 汚れを落とすときは、中性洗剤を使用しベンジン、シンナー等は使用しないでください。
- 超音波洗浄をしないでください。
- 次のような場所には保管しないでください。（直射日光下・振動・衝撃、化学薬品及び腐食性ガス等の発生環境下）
- 本製品は分娩監視の補助機器であり正常な分娩を保証するものではありません。ご使用については自己責任でお願いいたします。

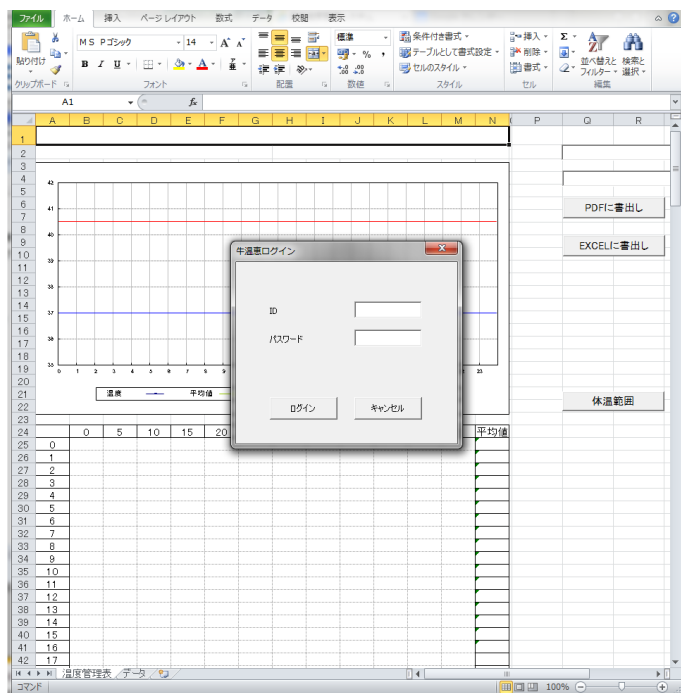
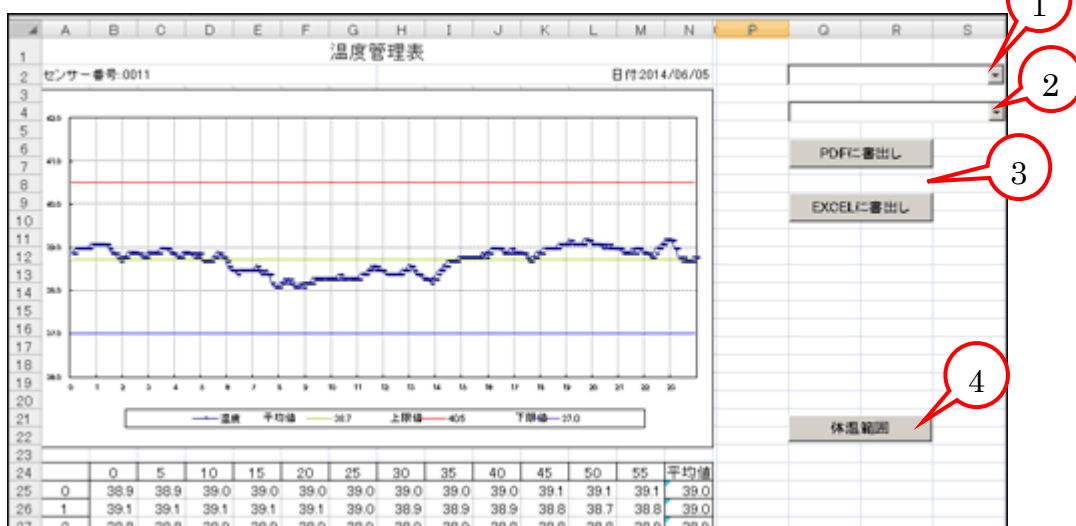
（情報システム改善等による手順変更が発生する場合があります）

温度データ保存方法

1．センサー一覧画面の[**保存**]をクリックする。

2．[**名前を付けて保存**]をクリックします。

3．保存先を確認し、[**保存**]をクリックします。

４.保存先に[monitoring]という ZIP フォルダーができていますので解凍(すべて展開)します。

解凍したフォルダーの、[remote]（ｴｸｾﾙﾌｧｲﾙ）を開きます。

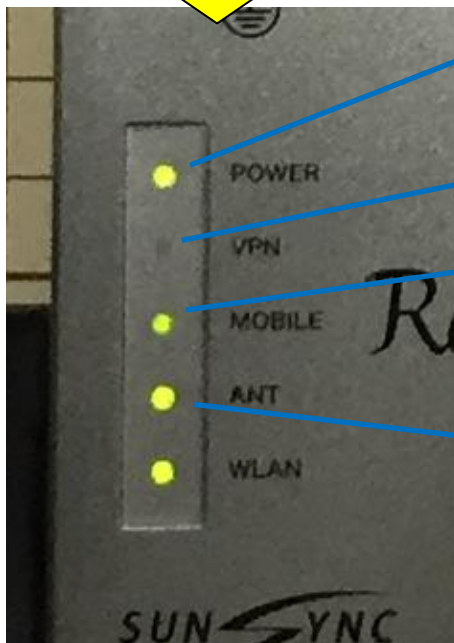
[牛温恵ログイン]画面が出ますのでログインをしてください。

５.

① センサーを選択します。

② 日付を選択します。

③ PDF（デスクトップに保存されます）か EXCEL（monitoring フォルダーに保存されます）を選択して書き出します。

④ 体温範囲が変わります。

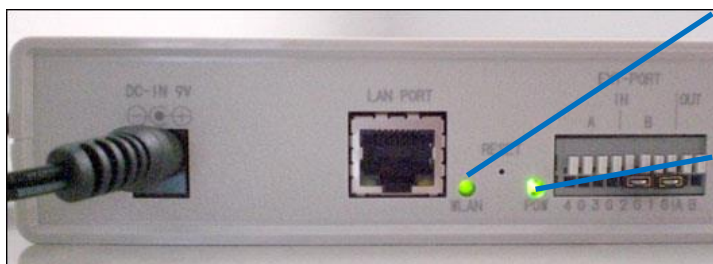
通信が不安定・遮断した時の動作確認方法

○モバイル牛温恵親機の動作ランプの見方

電源です。
点灯：通電状態。
消灯：停電状態。

未使用です。

子機との通信状況を表します。
①不定期に点滅：通信状態。
②点灯：遮断状態。

モバイルの電波状況を表します。
①点灯：安定しています。
②ゆっくり点滅：やや不安定状態。
③早い点滅：不安定状態。

○モバイル牛温恵子機の動作ランプの見方

不定期に点滅：通信状態。
5 秒間隔で点滅：遮断状態。

電源です。
点灯：通電状態。
消灯：停電状態。

○通信が遮断している場合は、電源の入り切りを下記の順番で行ってください。

親機の電源を切る　→　子機の電源を切る　→　親機の電源を入れる　→　子機の電源を入れる

動作しない場合はサポートセンターへご連絡をお願いします。